

令和5年度 第4回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和6年2月7日（水）午後2時30分～4時30分

場 所： 逗子市役所5階 第4会議室

出 席： 角田(進)委員（議長）、愛委員、石委員、
荻村委員、桑原委員、佐藤委員、角田(梨)委員

欠 席： 池上委員、磯野委員

事務局： 社会教育課 佐藤課長、青山係長、中村

傍聴者： なし

資 料：

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1 逗子市社会教育委員（令和5年12月1日現在） | [報告事項1] |
| 2 逗子市生涯学習・社会教育推進プラン | [報告事項2] |
| 3 令和5年度 社会教育課主催講座 実施計画 | [議題2] |
| 4 令和6年度 社会教育課主催講座 実施計画 | [議題3] |

●開会

●事務局紹介

●報告事項（1）新任委員の紹介

○事務局より説明。

○事務局：令和5年12月1日から社会教育委員が新たな任期に入り、再任の委員が5名、
新任の委員が4名（欠員1名）となった。

※新任委員の自己紹介後、4月から逗子市社会教育委員条例改正に伴い定数が14人以上となり、公募による市民委員や「逗子市共育のまち推進懇話会」メンバーから委員を迎える予定、との報告あり。

●資料確認

●議題（１）議長・副議長の選出

○事務局より説明。

任期初回のため議長及び副議長を選出。

事務局からの提案により、委員長に角田(進)委員、副議長に桑原委員が選出される。

決定後、会議の進行について議長に一任。

●報告事項（２）社会教育推進プランの改定について

○事： 第３回社会教育委員会議での意見を踏まえ、まちづくりに積極的に関わる「ひとづくり」について盛り込むことにした。家庭教育の部分では、それぞれの家庭の事情に応じて必要な情報を提供する趣旨の一文を追加した。

また、市民説明会では、プラン統合後に生涯学習分野の議論が行われる事を踏まえると会議の構成委員に配慮が必要ではないか、というものと、生涯学習推進懇話会と共育のまち推進懇話会の今後についての意見・質問があった。この事について事務局からは、生涯学習分野に関わりのある学識者や市民を委員として迎える予定である事や、二つの懇話会は閉会となる事を説明した。

パブリックコメントでは、デジタルリテラシーについてなど参考になる意見が寄せられ、いくつかを反映し素案の修正を行った。以上、先月をもって市民参加の手続きは終了した。

●報告事項（３）教育委員会定例会について

○事： 令和６年１月２４日に開催された教育委員会定例会において、逗子市文化財保護委員会から、市内の宗教法人延命寺が所有する絹本着色けんぼんちゃくしよくぶつねはんずいっぶく 仏涅槃図一幅について、逗子市指定重要文化財の指定に相応しい旨答申があったことが報告され、引き続いて教育委員会議の議決により同日付で指定された。本件の指定をもって、市重要文化財は２２件となった。

●報告事項（４）県社会教育委員連絡協議会 地区研究会について

※参加した委員から報告

○委： 令和6年1月27日に開成町で「本の良さを知り本に戻れる環境づくり」をテーマに開催された。開成町では条例化に向けて、子供たちへのアンケートを実施して子どもの読書環境を調査するなど、逗子市でも参考にできる話があった。また人権講座として、難病のALSの方を講師としたオンライン講座も実施された。

○委： 子供たちへのアンケートでは、どのようなことが示されていたのか。

○委： 高学年になるにつれて読書をしなくなる傾向があった。SNSや動画サイトの影響で、長い時間を読書に費やす事が出来なくなっているのではないかと推測される。

●課題（2）令和5年度社会教育課主催講座について

○事： 今回は12月以降に開催された各講座事業（人権教育・現代的課題・地域の課題・地域活動・家庭教育・出張講座）の状況、及び今後の予定について概要を説明する。
（この後、各講座について説明）

家庭教育推進事業について、委員から提案された社会教育委員会議による講座企画は、3月15日に「親だからできること」と題し、対面とオンライン併用で開催する。さらに委員の協力を得て、3月14日に「不登校、ひきこもりから考える 子どもの多様な学びと育ち」と題し、こちらも対面とオンライン併用で開催する。

○委： コロナ禍は落ち着いてきたが、オンラインと併用した講座は物理的に対面で参加できない人のために、録画配信の検討なども含め今後も続けていただきたい。

○委： 録画の配信には難色を示す講師もいる。文字にして残すなど別の方法も検討してもらいたい。

○委： 企画講座についての細かな調整は、事務局に対応を一任する。

●課題（3）令和6年度社会教育課主催講座について

○事： 令和6年度に開催を予定している講座事業の、予算段階で想定している内容について説明する。

※この後、各種講座事業の現代的課題・地域課題、家庭教育推進事業、人権教育事業、社会教育出張講座事業について説明。

○委： 昨年度は社会教育委員会議による講座企画があったが、本年度も枠はあるのか。

○事： 各種講座事業の中で用意している。本年度もご協力をお願いしたい。

○委： 今までのアンケートで蓄積したデータを活かせる講座を検討していただきたい。

○事： 今回説明した講座は、まだ開催が決定したわけではない。柔軟に対応して進行する。

●その他

○次回、令和6年度第1回社会教育委員会議は、令和6年5月、又は6月に開催予定。

●閉会

委：は委員、事：は事務局が発言した内容。